



佐渡山 明 議員

### 恩納村施設型共同墓(村納骨堂)について伺う

**質** 遺骨と位牌の両方を預かっていただけの納骨堂を村民が利用できるのは、いつ頃からでしょうか。

**答** 村民課長(山城達也) 村民課としては9月頃を想定して準備を進めている。

**質** 納骨堂の概要は。

**答** 村民課長(山城達也) 納骨堂の場所は、恩納村斎場に隣接している駐車場のところで、納骨壇と位牌壇、合葬室、参拝室の3施設で構成し、納骨壇は1体用を670基、2体用を300基、位牌壇を30基整備します。

**質** 位牌壇では、トートローメーや遺影、御香炉も含めて預かっていただけますか。

**答** 村民課長(山城達也) 位牌壇のサイズは、幅550ミリ、奥行き320ミリ、高さ550ミリで整備予定です。位牌壇に収まるものであれば、仏具一式を預かることは可能です。

**質** 納骨堂では位牌(トートローメー)も預かることから、空き家の活用にも大きな効果をもたらします。子育て世帯などへ空き家を提供できる可能性が広がりました。村内には132件の空き家があります。そこで納骨堂を絡めた空き家活用の展開を伺う。

**答** 定住促進室長(大城保洋) 定住促進アンケート調査において、空き家に仏壇や位牌等が残されていることで、家屋の利活用が進まないケースもあります。納骨堂の供用開始を契機として位牌等の整理にもつながり、空き家活用の促進、さらには住宅の確保にもつながると考えています。



納骨堂完成イメージ

### 「恩納村教育支援センター」の設置について伺う

**質** 恩納村教育支援センターを設置し、学校に登校できない児童生徒の居場所の確保や、その後のひきこもり状態を防ぐためとありますが、この事業の目的を伺う。

**答** 学校教育課長(親泊誠) 児童生徒一人一人の状況に応じた学びと、安心して過ごせる居場所を確保することが重要であると考え、小中学校に登校できていない児童生徒の「居場所の確保」と「学習・体験保障」をすることにより、義務教育修了後の進学・就労につなぎ、引きこもりを防ぐことを目的としています。

**質** 令和3年9月定例会で子どもの居場所支援事業については「今後、地域の実情を踏まえて検討していく」と答弁しました。今回、「恩納村教育支援センター」の設置に至ったのは、まさに地域の実情を踏まえての設置であると考えています。福祉課からの目的としては、不登校やひきこもり対策等の重要な支援と考えていて、成人してからのひきこもりは、時間も労力も費やし、家族への支援も長期にわたって関わる困難なケースになっています。子供の頃から支援を行

**答** 福祉課長(石川司)

関する要請決議を県へ提出したのですが、県担当課との調整はあったか伺う。

**答** 定住促進室長(大城保洋) 県の担当課のみならず県の関係部局とも連携を図り、その整備経緯及び現場確認を含め調整を行っています。

**質** 門前町構想について、今後どのように進めていくのか具体的に伺う。

**答** 定住促進室長(大城保洋) 定住促進事業の住宅地整備や商業施設についての取組を着実に推進することが門前町構想の実現につながり、その他周辺整備は県と連携し、住民との対話を通して地域周辺の環境の改善について検討し、今できるものから進めていくことが重要と考えています。

### 農業振興について

**質** 魅力ある農業を推進するために、村は思い切った助成が必要かと思うが、村はどうお考えですか。

**答** 農林水産課長(平安名盛常) 7年度は魅力ある農業を推進するために新たな助成制度のスマート農業技術導入支援事業補助金を創設し、各

うことにより、学習の保障や社会とのつながりを構築させていくことが重要だと考え、福祉課からも支援センターの設置を提案しました。

**質** 沖縄県では平成28年頃から3人に1人の子供が貧困状態にあると言われてきたことで、県内各地に「子どもの居場所」が開設されました。次年度に村が運営していく教育支援センターは、子どもの居場所としての位置づけでは拠点型、第3の居場所に当たります。子ども食堂や学習支援、生活習慣の形成などの支援を行っているのが一般的に言われている「子どもの居場所」ですが、今後、整備の予定はありますか。

**答** 福祉課長(石川司)

「子どもの居場所」については、次年度から開所される恩納村教育支援センターの運営状況を見ながら、教育委員会と連携し、保護者ニーズにも勘案しながら整備を進めていければと思います。



種補助率の引上げも実施し、今後の農業支援策の拡充については、財政状況も踏まえながら検討したい。

### 水道事業について

**質** 11月に沖縄県企業局において断水の報道がありました。恩納村では影響があったか伺う。

**答** 上下水道課長(金城正道) 昨年11月24日、大宜味村塩屋地内において沖縄県企業局が管理する水道管の老朽化のため漏水事故が発生しましたが本村への影響はありませんでした。

**質** 恩納村で断水が想定された場合、貯水タンクの水は何日間もつのか伺う。

**答** 上下水道課長(金城正道) 全体の配水池では約1日分の貯水量は確保できる状況です。

**質** 恩納村ではその対策として貯水タンクを増設する計画はあるのか伺う。

**答** 上下水道課長(金城正道) 新たな配水池建築計画は今のところありません。ただし令和15年度以降新たなリゾート開発等の計画により給水人口及び給水量の増加が見込まれる場合は新たな配水池整備を検討する必要がありますと考えています。

### 定住促進事業について

**質** 谷茶区定住促進事業の令和7年度の進捗状況を伺う。

**答** 定住促進室長(大城保洋) 土地取得は全体計画地100筆のうち92筆を取得し、また1件1筆について、昨日売買契約の締結がなされました。

**質** 残り7筆に関して等価交換や用地をそのまま残し事業を進めていくのか。

**答** 定住促進室長(大城保洋) 等価交換や事業計画画地から除外を含め検討しています。

**質** 事業計画用地から除外の説明をお願いします。

**答** 定住促進室長(大城保洋) 事業計画画地からの除外とは、用地取得が困難な土地について事業区域から



當山 達彦 議員

### 門前町構想について

**質** 大学院大学に係る門前町構想に

**質** 定期期間内に住宅建築が行われない場合とは何年をめどにしているのか伺う。

**答** 定住促進室長(大城保洋) 他市町村では10年ですけれども今後検討委員会で協議します。

**質** 元地権者が土地を購入する場合の地域住民に対する特約事項はどのようなものがあるか伺う。

**答** 定住促進室長(大城保洋) 一定期間内に住宅建築が行われない場合や無断譲渡があった場合に、村が買い戻すことができる仕組みを想定しており、具体的な条件については今後整理します。

外し、現状のままにしておくということとです。用地買収に賛同できない地権者に関しては分譲販売の資格はないと考えています。

**質** 説明会を行って地域の声を拾い上げる体制づくりが必要ではないかと思いますがどうお考えですか。

**答** 定住促進室長(大城保洋) 地域の意見を伺うことができる環境づくりを推進していきます。